

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	デイサービス森野		
施設概要	【所在地】町田市森野五丁目28番1号 【開設年月】1999年6月 【開館日時】月曜日～土曜日(12月31日～1月3日を除く)／8時30分～17時30分 【建物面積】200.29㎡ 【建物内容】食堂及び機能訓練室(89.187㎡)、相談室(1部屋)、和室(1室)、トイレ(3室)、調理室(1室)、倉庫(1室)、風除室 【建物構造】鉄筋コンクリート造 4階建(うち1階部分)		
設置目的	市内の介護を要する在宅の高齢者等を通所させ、介護保険法に基づくサービス等を提供することにより、その者が尊厳を保持し、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう支援するため。		
設置根拠法令・条例	町田市高齢者在宅サービスセンター条例		
所管部課	いきいき生活部いきいき総務課	問合せ先	042-724-3291
施設ホームページURL	https://www.kaedenokaze.com/service/day-care/morino/		

(2)指定管理者

指定管理者名	株式会社 風の風	法人番号	5012301008294
指定管理者所在地	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町3-32-13 第2安田ビル3階		
指定期間	2019年4月1日～2024年3月31日		
指定管理業務の内容	介護保険法、町田市高齢者在宅サービスセンター条例に基づき、以下に示す事業を行う。 ・法第8条第17項に規定する地域密着型通所介護 ・法第115条の45第1項第1号ロに規定する第一号通所事業		
利用料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
社会的自立支援アウトカム尺度(SIOS)を用いた目的のケアの実施	2023年度	半年ごとにSIOSを用いた目的のケアを全利用者に対して実施した。
サービス内容の公開及び情報提供	2023年度	パンフレットや施設便りを発行し、施設情報及びサービス内容を公開、配布した。その結果、利用者数が増加し、稼働率も上がっている。
地域住民向けの各種教室・セミナーの実施	2023年度	感染症の影響で実施が困難な状態。予防を優先し、実施しなかった。

3. 昨年度の課題

内容	未実施となった地域貢献の項目について、感染症対策を継続し、地域教育機関等との交流が取れる方法について再度検討を行う。
----	--

4. 総合評価及び所見

総合評価	C 【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	「2. 選定時の提案内容」の各項目について、項目によっては新型コロナウイルス感染症の影響で実施ができないものがあった。2023年度は感染症対策をした上で実施する方法を検討してほしい。また、SIOSを用いた目的のケアの実施については、維持改善率が昨年度から低下したが、数値が向上した項目もあるため、今回の結果について分析し、今後の取り組みに生かしてほしい。 「5. サービスの質に関する評価」については、利用者満足度調査の回収率が低下したが、利用者満足度及び利用率については昨年度から更に向上し、安定してA評価を維持できている。 「3. 昨年度の課題」及び「6. 業務履行状況の確認」では地域貢献の項目で未実施の項目があった。来年度に向けては、未実施となった地域貢献の項目について、感染症対策を施したうえで地域教育機関等との交流が取れる方法について引き続き検討してもらいたい。
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	利用者満足度については、SIOSで活動、参加、主体性を見極めることで、サービスの提供の質が上がり、満足度が増加したと考えている。ただし、SIOSの項目で活動と参加の数値が低下している結果が出ている。世間の感染者増加が影響し、感染のリスクを減らすために活動、参加が低下したと思われる。主体性の数値が上がっていたのは、参加が感染リスクの低いデイサービスの方に意識が行っていたことが影響していると思われる。今後は感染症対策が緩和され、活動、参加に対する行動が増えてくると思われるため、来年度もSIOSの実施を継続し、課題に対して、より目的に関わることができるプログラム提供へ繋がるよう見直しを行いたい。 利用率はパンフレットの配布継続で居宅介護支援事業所から紹介が増え、利用者人数増加が認められ、利用率上昇に繋がったと考えている。また感染症が緩和され、外出を控えていた方々が廃用改善のために、利用が増えたこともある。継続して感染症対策をした上で営業を実施したい。 自主事業は昨年度同様、感染症が蔓延したことで運営推進会議が実施不可となり、地域との話し合いの場がなくなり、地域貢献する場を作ることが出来なかった。来年度については、感染予防を継続しながら、園芸活動で育てた野菜を地域の方に販売し、収益で得た物を社会福祉協議会へ寄付し、ボランティア活動の費用に充ててもらおうようにしていく。

【評価対象年度 2022年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者満足度調査】

調査概要	【調査期間】 2023年2月1日～2月28日 【配布枚数】 92枚 【回収枚数】 65枚 【回収率】 70.7% 【調査方法】 調査票の配布は手渡しで行う。無記名で記入し、回収ボックスに調査票の入った封筒を投函してもらう。期限終了後にボックスを開封して集計する。
------	--

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度	A:85%以上 B:70%以上～85%未満 C:70%未満	99%	95.0%	A	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	95	99	99	99	99
実績値	79.5	89.1	92.2	95	

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
利用率 (1日あたり平均)	A:49%以上 B:39%以上～49%未満 C:39%未満	95%	70.8%	A	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	90	95	95	95	95
実績値	33.6	49.0	65.4	70.8	

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
社会的自立支援アウトカム 尺度(SIOS)を用いた目的 的ケアの実施	SIOSスコアの前年度(前回)から の維持改善率 A:90%以上 B:80%以上～90%未満 C:80%未満	90%	58.8%	C	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
目標値	90	90	90	90	90
実績値	52.8	47.4	66.7	58.8	

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
B	概ね要求水準どおりである。 利用者満足度調査については、昨年度から回収率が10.9ポイント低下しているが、利用者満足度については昨年度から2.8ポイント上回り、A評価を維持できている。 利用率についても昨年度から5.4ポイント上昇し、A評価を維持している。目標値の達成に向け、今後も利用率向上に努めてほしい。 SIOSを用いた取組については、昨年度から悪化しているため、今後も分析を継続し、目標値の達成に努めてほしい

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

【評価対象年度 2022年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	平等・公平な取扱い	利用希望者全ての受入	介護度や重症度で区別を行わず、希望者全てを受入していることを事業報告書で確認。	適
	サービス内容の公開	パンフレット、ホームページなどでサービスの内容を公開	パンフレット・ホームページでサービス内容を公開していることを各種媒体で確認。	適
施設・設備の管理運営方針	適正な自己評価	定期的な実施	毎月の常勤会議にて振り返りを実施していることを会議の議事録で確認。	適
	設備機器安全管理・保守点検	機器に応じた点検の実施	消防設備、自動ドア、エアコンなど機器に応じた点検を行っていることを点検表で確認。	適
個人情報公開・個人情報保護	個人情報の適切な保管	保管場所のセキュリティを確保	紙媒体は施錠させた書庫で保存、電子データはパスワードにて保護していることを事業報告書で確認。	適
	情報公開の制度を周知	利用者等に制度を説明	契約時に利用者へ説明していることを事業報告書で確認。	適
要望対応	対応記録の共有	要望・苦情記録簿等による情報共有	マニュアルに基づく要望・苦情等報告書の作成及び会議での共有について事業報告書で確認。	適
	苦情の発生抑制のための対策	相談窓口の周知	契約時に利用者へ制度を説明していることを事業報告書で確認。	適
危機管理	緊急時に備えた体制	マニュアルに沿った指導訓練の実施	マニュアルに基づき、年2回の避難訓練を実施していることを事業報告書で確認。	適
	リスクへの対応能力	保険等への加入	賠償責任保険に加入していることを保険証券で確認。	適
人的安定性	職員の指導育成	計画的な研修の実施	年間計画書を作成して、事業所研修を実施していることを計画書等で確認。	適
	適切な人員配置	法令を遵守した人員配置	職種に応じた適切な人員配置がされていることについて、勤務形態一覧表で確認。	適
管理経費の縮減	管理経費の縮減に向けた取り組み	光熱水費や消耗品などの経費の縮減	節電節水に関する取り組みや消耗品は価格比較の実施で経費を縮減していることを事業報告書で確認。	適
	職員への周知・啓発	職員への周知・啓発の実施	施設内に提示、朝礼や定例会議で職員に周知していることを事業報告書で確認。	適
地域貢献	地域教育機関等との交流	実習生や仕事体験・ボランティアの受け入れ	未実施であることを事業報告書で確認。	否
	市民雇用	町田市民の割合が50%以上	職員10名中町田市民が6名であり、割合が60%であることを職員台帳で確認。	適

【評価対象年度 2022年度】

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリングその他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2023年3月2日に楓の風グループ本部にてモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。または、改善のための対策が講じられている。	2023年3月2日に楓の風グループ本部にてモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
否	一部の項目について要求水準に満たしていない点があった。 【改善が求められる点】 実習生や仕事体験・ボランティアの受入について、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に引き続き未実施であった。新型コロナウイルス感染症対策を施したうえで地域教育機関等との交流が取れる方法について検討してもらいたい。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

項目	2019		2020		2021		2022		2023	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	0	0	0	0	0	0	0	0	
	利用料金	30,510	22,365	42,793	33,952	42,793	45,968	42,793	50,376	42,793
	自主事業	0	0	0		0	0	0	0	0
	その他	20	0	20	0	20	500	20	0	20
	計	30,530	22,365	42,813	33,952	42,813	46,468	42,813	50,376	42,813
支出	人件費	17,788	25,075	19,004	24,346	19,193	27,979	19,386	31,044	19,579
	維持管理経費	9,315	7,911	10,140	7,188	10,241	7,728	10,343	8,115	11,153
	自主事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	696	920	696	802	698	1,275	700	1,248	700
	計	27,799	33,906	29,840	32,336	30,132	36,982	30,429	40,407	31,432
総計(収入-支出)	2,731	-11,541	12,973	1,616	12,681	9,486	12,384	9,969	11,381	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位: %

年度	2019	2020	2021	2022	2023
経常利益率	0.4	2.7	-6.1	-1.1	
負債比率	448.0	852.6	11817.3	-20288.8	

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	指定管理事業は概ね適切な執行であり、安定的に運営できていた。 指定管理者本部の負債比率がマイナスになった理由としては、2016年に投資を受けた政府系投資ファンドから株式を買い戻すための長期借入金増加によるものである。買い戻し後は、長期借入金は大幅に減少する見込みである。 なお、今後は経常黒字を見込み、負債比率についても改善する見込みであるとのこと。